



学校だより

碩愛

No. 10

R元.5.17 発行



観戦エリアについて



昨年さくねんの体育大会たいいくたいかいでは、「立ち見たみ

で入れ替わりい かのはずの観戦エリ

アい すわに居座かた おおる方が多くて残念ざんねん」な

どこえの声がありました。

今年は、昨年より観戦エリアを少しですが拡大します。ただし、席ではなく「立ち見で入れ替わり」は変わりません。椅子やシートを置いたりせず、立ち見で、競技ごとに入れ替わっての観戦にご協力をお願いします。

なお、小と中で分けて開催することを望む声も一部にありましたが、「新設校の歴史や文化を自分たちが創造する」という思いで、全校の児童生徒が知恵と力と心をついに合わせて大きな行事を成功させることの意義の大きさや保護者のご負担も考慮して、今年も全校一斉での実施とします。

苦難の先の成長

体育大会たいいくたいかいの練習れんしゅうの過程かていで、ちょっとしたハプニングだけ

なく、時ときとして嫌いやなことや辛いつらことで凹へこむ時ときもあるでしょう。

自分では頑張っているつもりなのに「リーダーがもっとしっかりしないでどうするんか!」とか、「君がちゃんとしなから全体がそろわない」などと叱られて、凹へこんでる人はいませんか。そういう人へのアドバイス。凹へこむってことは、それだけ頑張っている証拠。頑張ってるキミはすてきだよ。

ことばは、いわゆる文字通りの意味ではなく、その奥底にどのような意味があるのか考えてみましょう。すると、明るく受け止めることだってできるのではないのでしょうか。例えば、応援練習でリーダーがみんなに「もっと声を出して」と指示しても声が出ないと感じるなら「イケ～イケ、イケ、イケ●軍」の「イケは5回。最初のイケはイとケの間に小さいツをいれて3倍、●軍のところは5倍大きな声で」とか「次は『ドドン、オー』の部分だけ10回続けてやってみて、そのあとにどれくらい上達したか先生に10点満点で評価してもらいます」のように指示を具体的明確に出してみましょう。良い方法が思いつかないこともあるでしょうから、事前に仲間と相談してアイデアを出し合って、良さそうなアイデアと一緒に試してみることも大切。うまくいったら、みんなで小さな成果を喜び合う。そういうことの積み重ねが、成長の道筋です。冒頭の叱咤激励のことばは「今、きみがしっかりしたリーダーに成長するための大チャンスだよ」「全体がそろうにきみの頑張りが必要だということは、きみがキーパーソンなんだと言ってもらっているのと同じだよ」というように受け止めよう。へこんでばかりはいられない。立ち上がり次の一步を踏み出そう。



地域で支え合って

15日いち すい(水)に4年の植田祐人わさだゆうとさんと

安東心海あんどうみうなさん、5年の小野光希おのみつきさんと

染矢沙羅そめやさらさんの4人が1日民生

委員い いん・児童委員じどうい いんに委嘱いしょくされました。



地域福祉を担う民生委員・児童委員の活動をアピールするため、4人は市内各地域から集まった委員さんたちの先頭に立ってパレードに参加し、街頭でチラの配布もしました。

参加した4人はしっかりしていて、NHKのインタビューでは「地域で支え合っていきたい」「地域の力を高めることが大切」など、堂々とした受け答えの様子が放映されました。



一方で、もらったハート形の風船を喜んで持ち帰る姿が無邪気で愛らしかったです。